

平成 31 (2019) 年に竿釣り漁業が対象とするビンナガ来遊資源の動向

水産研究・教育機構 国際水産資源研究所
水産庁増殖推進部 漁場資源課

平成 31 (2019) 年の竿釣り漁業が対象とするビンナガ来遊資源の動向を検討した。過去には漁期前のはえ縄 CPUE と竿釣り CPUE との相関を根拠として予測を行っていた。近年、両漁業の CPUE に有意な相関関係が認められなくなったことから、平成 19 年度以降、「竿釣りによって漁獲されるビンナガの来遊動向予測」を実施していない。本資料では、ビンナガの来遊資源動向に関連する基本的な漁業情報を取りまとめ、提示することを目的とした。

来遊資源の豊度に関する情報

例年、竿釣りは主に 5～7 月に 3・4 歳(3 歳魚:体重 5～6kg, 4 歳魚:体重 7kg 以上)に相当する個体を主対象とした漁業を行っている。竿釣りで漁獲されるビンナガの来遊資源豊度に関する情報としては「前年(2018 年)漁期の竿釣り 2 歳魚の CPUE」、竿釣り漁業の開始直前に相当する 2019 年 1～3 月における「はえ縄による特定海域(図 1)におけるビンナガ年齢別 CPUE」がある。

「平成 30 年(2018 年)漁期の竿釣り 2 歳魚(平成 31 (2019) 年の竿釣り漁期には 3 歳魚として漁獲)の CPUE」は 0.01(1,000 個体/ 隻・日)と推定され、平成 29(2017)年の 0.00 をわずかに上回り、過去 5 年(2013～2017 年)の平均値(0.16)を下回る水準であった(表 1, 図 2)。

平成 31 年(2019 年)1～3 月のはえ縄漁期中の「特定海域におけるビンナガの年齢別 CPUE」は、全年齢込みの CPUE で 1.76(個体/100 釣鈎数)と推定された。この値は過去 5 年(2014～2018 年)の平均値(3.92)および 2018 年(2.94)を下回る水準であった(表 1, 図 2)。はえ縄で漁獲された 3 歳魚(竿釣りの漁期には 4 歳魚として漁獲)の漁期中の CPUE は 0.49 と推定され、過去 5 年の平均値(2.52)および 2018 年(1.65)を下回る水準であった(表 1, 図 2)。はえ縄で漁獲された 4 歳魚(竿釣りの漁期には 5 歳魚として漁獲)の漁期中の CPUE は 0.17 と推定され、過去 5 年の平均値(1.22)および 2018 年(1.23)を下回る水準であった(表 1, 図 2)。

表 1 平成 31 (2019) 年の竿釣りビンナガ来遊資源動向に関する指標

	漁獲時の年齢	CPUE				2019年の竿釣り漁期 における年齢 (体重)
		H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	過去5年 平均	
竿釣り	2歳	0	0.01	-	0.16	3歳 (5～6 kg)
	全年齢込み	4.17	2.94	1.76	3.92	4～6歳 (7 kg以上)
はえ縄	3歳	2.29	1.65	0.49	2.52	4歳 (7～11 kg)
	4歳	1.73	1.23	0.17	1.22	5歳 (12～15 kg)
	5歳以上	0.15	0.06	1.10	0.17	6歳 (15 kg以上)

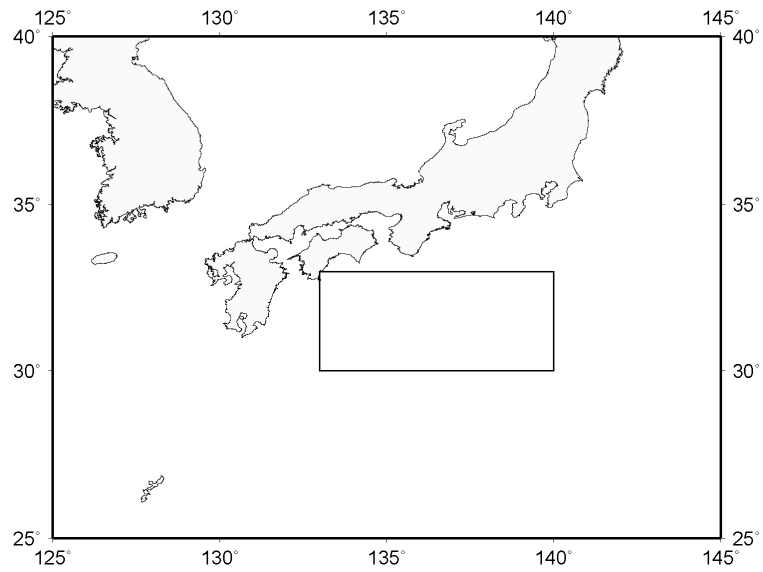


図1 はえ縄のビンナガ年齢別 CPUE 推定に用いた特定海域の位置 (30°N~33°N, 133°E~140°E) .

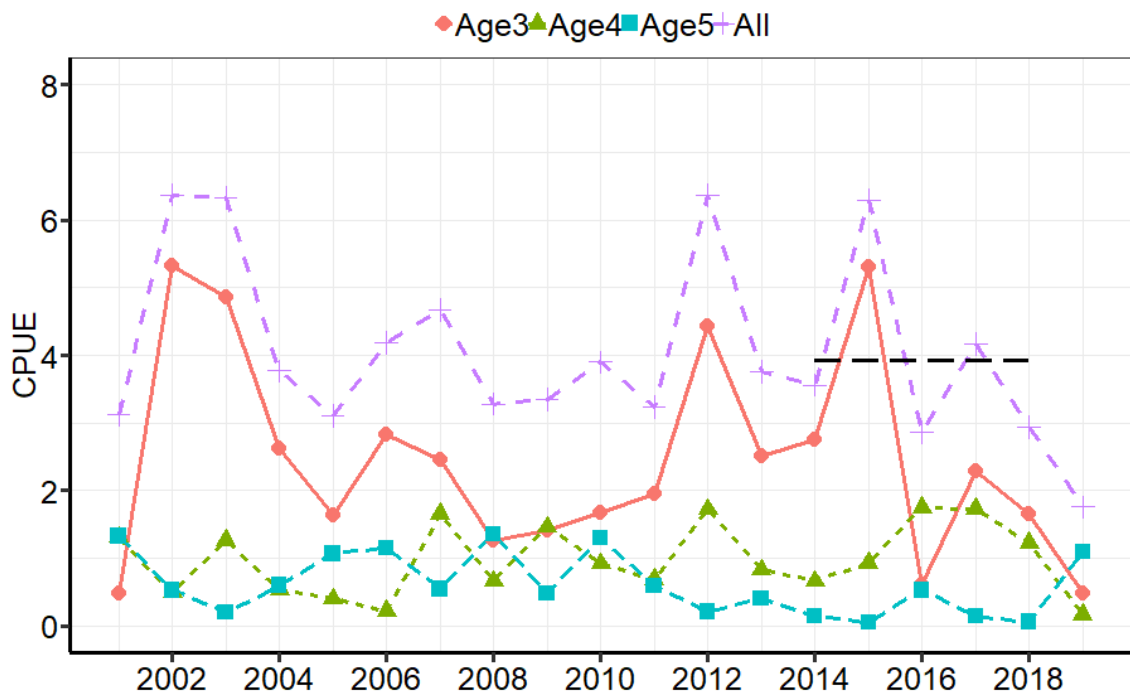


図2 はえ縄の特定海域(30°N~33°N,133°E~140°E)でのビンナガ全年齢・年齢別 CPUE. 黒色の点線は過去5年(2014~2018年)平均値を示す.